

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績及び効果検証シート

(単位：円)

No.	事業名	担当課	支出科目 (款.項.目)	事業概要 ①目的 ②交付金を充当する経費 ③事業対象	事業 始期	事業 終期	総事業費		事業経費内訳	効果検証		
								内臨時交付金		成果	検証	課題・今後の取組
1	水道事業会計繰出金(基本料金免除)	総務課	2.1.1	①新型コロナウイルスにより影響を受ける市民や事業者に対する支援 ②水道基本料金の免除に伴う水道事業会計の減収分及び免除実施により生じる事務費に対する繰出金 ③全市民、事業者	R2.6	R3.1	164,917,610	164,910,000	水道事業会計繰出金 事務費分(システム改修)： 1,430,000 基本料金免除分：163,487,610	令和2年7月から12月までの6ヶ月間の水道料金のうち基本料金を免除し、免除に要した経費を水道事業会計へ繰り出した。	基本料金を免除することにより、市民生活や経済活動を支援することができた。	—
2	妊婦応援給付金事業	子ども・健康課	4.1.4	①新型コロナウイルス対策に留意して生活する妊婦を応援するため給付金を支給 ②給付金及び給付金支給に係る事務費 ③4/27時点で出産していない妊婦で、5/31までに母子手帳の交付を受けている者	R2.6	R2.12	27,677,686	27,670,000	妊婦応援給付金：27,600,000 通信運搬費：47,326 口座振込手数料：30,360	期間内で母子手帳の交付を受けた276人の妊婦に、一人当たり10万円を支給した。	給付金支給により、感染症予防対策に留意して過ごす妊婦に対する経済的支援が図られた。	—
3	ひとり親家庭等応援給付金事業	子ども・健康課	3.2.5	①新型コロナウイルスにより、就業環境や生活に影響を受けやすいひとり親家庭等に対する支援のため給付金を支給 ②給付金及び給付金支給に係る事務費 ③児童扶養手当受給世帯	R2.6	R2.10	13,698,545	13,690,000	ひとり親家庭等応援給付金： 13,320,000 通信運搬費：48,545 システム改修費：330,000	児童扶養手当受給対象者666人に対し、一人当たり2万円を支給した。	給付金支給により、経済的に厳しいひとり親世帯における児童の養育と成長を支援することができた。	—
5	敬老事業	地域福祉課	3.1.3	①感染防止に努める高齢者の長寿を祝うとともに地元飲食業者の活性化を図るため、対象者に弁当またはクーポン券を配付する ②弁当代又はクーポン券代及び意思確認に係る事務費等 ③S21.12.31生以前の方、地元飲食業者	R2.6	R2.12	7,581,024	7,580,000	クーポン券購入費：2,177,000 食糧費：4,579,472 消耗品費：13,898 通信運搬費：425,654 クーポン券配布事業運営委託料： 385,000	令和2年9月19日から21日に各地区公民館等において、希望した5,109人に対し、弁当若しくはクーポン券を配布した。(弁当：2,932人、クーポン券：2,177人)	事業実施により、コロナ禍で感染防止に努めている高齢者の長寿を祝うとともに、市内飲食業界の活性化につなげることができた。	クーポン券配布方法や利用可能店舗の拡大、テイクアウトの可否などの周知の対応。
6	家庭学習教材購入事業	教育総務課	9.2.2 9.3.2	①新型コロナウイルスにより休業となる小中学生の家庭学習を支援するため、教材を配付する(全体数4,360人分のうち、補助対象事業として実施する分を控除した4,185人分) ②学習支援教材購入費 ③市立小中学校児童生徒	R2.4	R3.3	4,825,676	4,820,000	消耗品費(教材購入費) 小学校分：3,337,708 中学校分：1,487,968	小中学校児童生徒に学校休業中における家庭学習用教材を配付した。	各小中学校で1人3,000円分の教科書に準拠した学習教材を選定し、休業期間中及び学校再開後の補充学習に用いた。	今後は、1人1台パソコンの使用促進を図る必要がある。
7	事業所支援給付金	産業振興課	6.1.1	①新型コロナウイルスにより影響を受ける市内事業所に対し、事業継続を支え再起の種となる給付金(上限300千円)を支給 ②給付金及び申請に係る事務費 ③本年売上が前年売上額から30%以上50%未満減少した事業所	R2.6	R3.3	21,804,054	21,790,000	事業所支援給付金：21,718,000 消耗品費：33,748 チラシ等印刷費：37,950 通信運搬費：6,216 振込手数料：8,140	申請事業所74件に対し、売り上げの減少額に応じた給付金を支給した。	市内事業所の売上減少率が想定以上に大きく、国及び県の給付制度を利用する事業者が多かったものの、国及び県の制度の対象とならなかった事業者に対する支援が図られた。	—
8	必需物品供給事業	生活環境課	4.1.5	①新型コロナウイルスにより影響を受ける一般廃棄物収集運搬事業者(清掃組合・環境組合)を支援するためマスク・消毒液を支給 ②マスク・消毒液の購入費 ③一般廃棄物収集運搬事業者(清掃組合・環境組合)	R2.6	R2.7	244,800	240,000	消耗品費：244,800	し尿処理運搬許可事業者(4事業者)と資源ごみ収集運搬許可事業者(4事業者)にマスク500枚と消毒液20ℓを支給した。	事業所における新型コロナウイルス感染防止対策が図られた。	今後の地域における感染拡大リスクが生じた場合には、対応を強化する必要がある。市民生活を維持するため安定的に業務を継続する必要があることから、事業所に対して、感染防止対策の徹底のため情報提供等の支援に取り組む。
9	休業要請に伴う協力金	産業振興課	6.1.2	①市の休業要請に応じた道の駅の指定管理者に対し、協力金を支給 ②協力金 ③道の駅指定管理者	R2.6	R2.9	500,000	500,000	道の駅休業要請協力金：500,000	休業を行った道の駅に対し、休業中の施設維持や経済活動再開を支援するための協力金を支給した。	休業中の施設維持及び経済活動再開を支援することができた。	—
10	広報録音事業	市長公室	2.1.4	①広報録音ボランティア団体が感染拡大防止を図る観点から活動を休止するため、音声広報事業を継続して実施するため、外部の事業者録音業務を委託する ②業務委託料 ③「声の広報」を必要とする市民	R2.5	R2.9	142,120	140,000	声の広報録音業務委託料：142,120	令和2年5月号から7月号の声の広報音声データ作成を事業者委託し、利用者に「声の広報」を届けた。	途切れることなく「声の広報」を利用者の方へお届けすることができた。	引き続き、「声の広報」の作成に取り組んでいく。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績及び効果検証シート

(単位：円)

No.	事業名	担当課	支出科目 (款.項.目)	事業概要 ①目的 ②交付金を充当する経費 ③事業対象	事業 始期	事業 終期	総事業費		事業経費内訳	効果検証		
								内臨時交付金		成果	検証	課題・今後の取組
11	感染機会軽減 事業	総務課 教育総務課 岩出図書館	2.1.1 9.1.2 9.4.3	①公共空間での感染機会の削減 ②需用費、備品購入費 ③岩出市	R2.4	R3.3	9,455,150	9,450,000	消耗品費：5,986,762 啓発チラシ印刷費：223,388 図書消毒機購入費：3,245,000	手指消毒液、窓口用飛沫防止パネル (応急対応)等の感染予防対策物品及 び図書消毒機4台を購入した。	公共施設での感染防止対策が図られた。	引き続き、感染防止に配慮した施設運営 に取り組んでいく。
12	児童生徒用端 末整備事業	教育総務課	9.2.2 9.3.2	①1人1台端末の整備に係る文部科学省補助制度の補助基準額を超える 継ぎ足し単独事業分 ②端末整備費 ③小中学校児童生徒	R2.6	R3.3	169,715,000	161,588,000	タブレット端末購入費 小学校分：102,655,000 中学校分：45,720,000 大型モニター等購入費 小学校分：13,331,877 中学校分：8,008,123	小中学校児童生徒1人1台パソコン(タ ブレット端末)を導入するとともに、大型モニ ター等のICT機器を前倒しで導入した。	国が提唱するGIGAスクール構想における 「1人1台端末」の整備が図られ、教育の 情報化が推進された。	計画的に進めてきた教育情報化推進計 画について、前倒しで環境整備は完了した が、今後、児童・生徒の学力向上やコロナ 禍における学習補償のための有効な活用 方法を検討していく必要がある。
13	プレミアム付き商 品券事業	産業振興課	6.1.1	①地域経済活性化のため、市民の消費喚起を図る目的で、プレミアム付 き商品券(発行総額3億円、プレミアム率25%)を発行・販売事業に対 する補助を行う ②商工会補助金 ③岩出市商工会	R2.8	R3.3	89,607,846	89,600,000	岩出市商工会補助金： 89,607,846	市商工会にプレミアム付商品券事業実 施に係る補助金を支出した。 (商品券販売総額：3億円、購入人 数：4,329人、使用店舗数：139店 舗)	プレミアム付き商品券を発行し、消費を喚 起したことにより、新型コロナウイルスにより 影響を受けた地域経済に対する刺激を与 えることができた。	短期間での事業実施となったため、周知方 法が課題となった。今後は十分な事前周 知に努めるとともに利用店舗の拡大を図る 必要がある。
14	遠隔手話サー ビス支援事業	地域福祉課	3.1.10	①新型コロナウイルスの感染が疑われる聴覚障害者等が医療機関を受診 する際などの手話通訳者の同行が困難な場合の対応として、タブレット端 末を用いた遠隔手話サービスを導入する(2台分) ②役務費、備品購入費 ③岩出市	R2.8	R3.3	147,085	140,000	通信費：14,425 タブレット端末購入費：132,660	遠隔手話サービスに用いるタブレット端末2 台を購入した。	新型コロナウイルス感染が疑われる聴覚障 害者の受診に関する不安解消と健康・生 命を守る体制の整備が図られた。	令和2年度においては、事例はなかったが、 今後、緊急対応が必要で通訳者がすぐに 現場に行けない場合等において柔軟に活 用していく。
15	電子図書館サー ビス事業	岩出図書館	9.4.3	①感染予防のため外出の自粛を余儀なくされた場合においても、来館せず に電子書籍を利用できるようなシステムを構築する ②業務委託料、使用料 ③岩出市	R2.8	R3.3	10,463,590	10,460,000	システム構築委託料等：7,310,577 システム利用料：220,000 電子書籍ライセンス料：2,933,013	令和2年12月1日に岩出市電子図書館 「いゆでe-Library」を開設した。 (コンテンツ数：788件)	図書館に行かなくても、電子書籍の貸出・ 返却ができる環境の整備が図られた。ま た、近い将来必要となる読書バリアフリー法 (コンテンツ数：788件)	今後も、利用者のニーズを把握しながら、 計画的にライセンスの追加を行う。また、 サービスの周知啓発に努め、利用者の増 加にも取り組んでいく。
16	図書購入事業	岩出図書館	9.4.3	①視力が弱い方や高齢者、小中学生の利用が期待される大活字本の蔵 書の充実を図る ②業務委託料、備品購入費 ③岩出市	R2.8	R3.1	668,508	660,000	書誌データ作成業務委託料：23,166 図書購入費：645,342	大活字本234冊(一般書212冊、児童 書22冊)を購入した。	誰にでも読みやすい大活字本の購入によ り、図書館における蔵書の充実が図られ た。	大活字本についての認知度が低いため、 今後、大活字本を特集した展示を行うな ど、利用促進に努める。
17	地域公共交通 補助事業	総務課	2.1.1	①令和2年4～6月期における運賃収入の減少状況を踏まえ、地域公共 交通維持のため運行支援補助金を支給 ②運行支援補助金 ③路線バス運行事業者	R2.8	R2.11	7,494,931	7,490,000	大阪方面路線バス等運行支援補助金： 7,494,931	運行事業者である和歌山バス那賀株式 会社に対し、令和2年4～6月までの各路 線の運行に係る月間減収分を補助した。	補助金交付により、事業経営に大きな影 響が出ているバス運行事業者の運行継続 のための支援ができた。	今後も、新型コロナウイルス感染症の状況 を注視し、公共交通の確保維持を図る。
18	保育従事者特 別給付金	子ども・健康課	3.2.2	①緊急事態宣言が発令される中、子育て関係施設を継続して開所する ことに尽力した保育従事者に特別給付金を支給 ②役務費、給付金 ③市内における子育て関係施設における保育従事者	R2.8	R2.11	7,338,290	7,330,000	振込手数料：48,290 保育従事者特別給付金： 7,290,000	緊急事態宣言が発令される中、感染リス クと不安を抱えながらも、感染防止対策を 講じ、保育サービスの継続に努めた保育従 事者439人に対し、特別給付金を支給し た。	給付金支給により、保育従事者個々の働 く意欲の増進が図られた。	—
19	確定申告等会 場感染予防対 策事業	税務課	2.2.2	①申告会場に、飛沫防止パネル、アルコール消毒液噴霧器等を配備する とともに、自宅で市県民税の申告書を作成できるシステムを導入すること により、感染予防を図る ②需用費、業務委託料、備品購入費 ③岩出市	R2.8	R3.3	2,108,000	2,100,000	消耗品費：105,120 市県民税申告書作成システム作成委託 料：715,000 飛沫防止パネル等購入費： 1,287,880	飛沫防止パネル、パーティション等の感染 防止備品等を購入するとともに、市県民税 申告書作成システムを市ウェブサイトに掲 載した。	市県民税申告書作成システムにより、自 宅で申告書を作成し郵送での送付が増え たことから、来場者の減につながった。 また、令和3年2月15日～3月16日にお いて実施した申告相談会場の感染防止 対策を図ることができた。	今後は、導入システム、物品の適切な維 持・運用に努めるとともに、入場整理券を 求め開場前に密になることがあったため、申 告相談予約について検討していく。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績及び効果検証シート

(単位：円)

No.	事業名	担当課	支出科目 (款・項・目)	事業概要 ①目的 ②交付金を充当する経費 ③事業対象	事業 始期	事業 終期	総事業費		事業経費内訳	効果検証		
								内臨時交付金		成果	検証	課題・今後の取組
20	障害福祉サービス事業所感染予防対策事業	地域福祉課	3.1.10	①障害福祉サービス事業所に手洗い用のオートディスペンサー及びハンドソープを支給し、感染予防を図る ②需用費 ③障害福祉サービス事業所	R2.8	R2.12	354,816	350,000	消耗品費：354,816	市内障害福祉サービス事業所に、手洗い時に障害児者にも使いやすい、ハンドソープ用オートディスペンサー56個と詰替用ハンドソープ224本を配付した。	衛生的で、障害児者にも使いやすい物品の配付により、手洗いの訓練ができ、習慣化することができた。また、事業所職員の手洗い徹底の一助ともなった。	—
21	介護サービス事業所感染予防対策備品購入事業	地域福祉課	3.1.14	①介護サービス事業所における感染拡大に備えるため備蓄品の購入に対し補助を行うとともに、市においても市内事業所における感染が発生した場合に備え、防護服、マスク等の備蓄を行う ②需用費、補助金 ③介護サービス事業所、岩出市	R2.8	R3.3	6,025,200	6,020,000	消耗品費：1,355,200 感染症対策備蓄品購入事業補助金：4,670,000	市内の介護サービス事業所61件に対し、備蓄品の購入補助を行うとともに、市においてもマスク、防護服等の備蓄品を購入した。	市内介護サービス事業所における、感染予防対策に必要な備蓄品の購入補助により、感染防止対策が図られた。また、市における備蓄品の購入により、事業所への支援体制の整備が図られた。	市における備蓄品について、今後も必要に応じて活用していく。
22	個別検診実施医療機関感染症予防対策事業	保険年金課	4.1.2	①新型コロナウイルスの感染拡大により集団検診を中止することから、個別検診の受診が増加することが見込まれるため、実施医療機関における感染予防対策としてフェイスシールドを配付 ②需用費 ③個別検診実施医療機関（医師会、歯科医師会）	R2.8	R2.10	457,875	450,000	消耗品費：457,875	個別検診に協力頂く、市内の医師会及び歯科医師会所属の68医療機関に対し、フェイスシールド2,775枚を配付した。	各医療機関における感染防止が図られた。	効果的な配布時期を見据え、迅速に実施する必要がある。
23	小中学校児童生徒健診器具購入事業	教育総務課	9.2.1 9.3.1	①児童生徒の健康診断実施時における感染拡大予防のため、健診用の器具（耳鏡、鼻鏡、舌圧子等）を追加で購入 ②需用費 ③岩出市（各小中学校）	R2.8	R3.3	2,071,503	2,070,000	消耗品費 小学校分：1,216,933 中学校分：854,570	小中学校児童生徒の健康診断に用いる器具（耳鏡、鼻鏡、舌圧子等）を購入した。	感染防止に配慮した小中学校児童生徒健診の実施に必要な器具の確保が図られた。	国の指針に従い、感染防止に配慮した健診実施に努める。
24	学校保健特別対策事業費補助金	教育総務課	9.2.1 9.2.2 9.3.1 9.3.2	①各小中学校へサーモグラフィや換気用扇風機等の感染予防対策物資の配備をすとともに、手洗い用蛇口の交換を行い、感染拡大防止を図る ②需用費、備品購入費 ③岩出市（各小中学校）	R2.8	R3.3	14,000,000	7,000,000	消耗品費 小学校分：5,422,532 中学校分：2,417,468 サーモグラフィ購入費 小学校分：4,620,000 中学校分：1,540,000	各小中学校における学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援として、家庭学習教材及びサーモグラフィ8台を購入した。	学校再開後の小中学校における集団感染リスクを避け、安心して学ぶことができる環境整備が図られた。	引き続き、感染防止に配慮した小中学校運営に取り組んでいく。
25	避難所機能強化事業	総務課 生涯学習課	2.1.2 9.4.2	①避難所（サンホール、桜台地区公民館）施設における換気設備、空調設備などを改修し、避難所としての機能強化を図ることで災害発生時の避難者の安心・安全を確保する。 ②業務委託料、工事請負費 ③岩出市（サンホール、桜台地区公民館）	R2.8	R3.3	84,387,600	84,380,000	【サンホール】 設計監理委託料：1,815,000 工事請負費：40,481,100 【桜台地区公民館】 設計監理委託料：1,705,000 工事請負費：40,386,500	サンホール及び桜台地区公民館において、換気対策として空調設備等を改修した。	改修実施により、換気機能の向上等、避難所としての機能向上が図られた。	引き続き、感染防止に配慮した施設運営に取り組んでいく。
26	各公民館換気対策事業	生涯学習課	9.4.2	①避難所となる市内公民館における換気対策として、網戸を設置 ②工事請負費 ③岩出市（各地区公民館）	R2.8	R2.10	1,397,550	1,390,000	工事請負費：1,397,550	岩出、山崎、根来、上岩出、紀泉台の各地区公民館の窓に網戸を設置した。	網戸設置により、各公民館における換気対策が図られた、	引き続き、感染防止に配慮した施設運営に取り組んでいく。
27	総合体育館感染予防対策事業	生涯学習課	9.5.3	①避難所となる市民総合体育館にサーモグラフィを配備するとともに、密回避のため屋外でも避難所運営を実施を行うことができるようテントの購入を行う ②備品購入費 ③岩出市（市民総合体育館）	R2.8	R2.12	2,112,550	2,110,000	サーモグラフィ購入費：660,000 テント等購入費：1,452,550	総合体育館にサーモグラフィ、パイプ TENT、パーティションスタンドを設置した。	来場者の検温により、新型コロナウイルス感染が疑われる者の施設利用を未然に防ぐとともに、災害時における機能強化も図られた。	引き続き、感染防止に配慮した施設運営に取り組んでいく。
30	学童保育施設整備事業	子ども・健康課	3.2.1	①利用者が増加傾向にある学童保育施設における感染予防対策（密集回避）のため、新たに学童保育用のプレハブを学校敷地内に設置する ②工事請負費 ③岩出市（根来小学校内学童保育施設）	R2.9	R3.3	29,590,000	29,590,000	工事請負費：29,590,000	根来小学校敷地内に学童保育用のプレハブ1棟を設置した。	利用者が増加していた学童保育施設について、サービスの提供に係る施設整備が図られ、密集回避につながった。	今後は、適切な維持管理に努めるとともに、安心・安全なサービス提供に取り組んでいく。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 実績及び効果検証シート

(単位：円)

No.	事業名	担当課	支出科目 (款.項.目)	事業概要 ①目的 ②交付金を充当する経費 ③事業対象	事業 始期	事業 終期	総事業費		事業経費内訳	効果検証		
								内臨時交付金		成果	検証	課題・今後の取組
31	介護認定調査員特別給付金	地域福祉課	3.1.14	①介護施設・事業所に勤務する職員に対する慰労金の対象外となる介護認定調査員について、申請者宅、施設、病院等を訪問し、面談しての調査を行うことから、慰労金対象相当であるため、市独自で給付金を支給 ②給付金 ③認定調査員	R2.10	R2.12	150,000	150,000	介護認定調査員特別給付金：150,000	感染リスクと不安を抱えながらも、感染防止対策を講じ、介護認定が必要な方への訪問調査を行った3人の市認定調査員に対し、特別給付金を支給した。	給付金支給により、認定調査員個々の働く意欲の増進が図られた。	—
32	母子保健衛生費補助金	子ども・健康課	4.1.4	①これまで対面で実施していた母子保健事業における保健指導、個別相談、教室、研修などをオンライン化することにより、感染予防を図る ②備品購入費 ③岩出市	R2.8	R3.3	1,892,000	940,000	オンライン用タブレット端末等購入費：1,892,000	オンライン用タブレット、アプリケーション等を5セット、モバイルルーターを3台購入した。	これまで対面で行っていた、保健指導、個別相談、教室、研修等をオンラインで実施するための環境整備が図られた。	令和2年12月に環境整備が完了したため、令和2年度においては主に研修に利用したが、令和3年度以降は保健指導等への活用に順次取り組んでいく。
33	子ども・子育て支援交付金	子ども・健康課	3.2.1	①小学校の臨時休業に伴い、放課後児童健全育成事業（学童保育）の利用料を減免する ②放課後児童健全育成事業利用料の減免に係る費用 ③岩出市	R2.4	R2.5	4,150,760	970,000	減免に伴う歳入減少額：4,150,760	緊急事態宣言に伴う学校休業による、追加的に生じる利用者負担の減免を行った。（述べ対象者数：809人、臨時休業日数：48日）	放課後児童健全育成事業（学童保育）利用者の負担軽減が図られた。	—
34	学校臨時休業対策費補助金	教育総務課	9.5.4	①緊急事態宣言に伴う臨時休業により影響を被る、学校給食食材納入事業者等への補助を行う ②補償、補填及び賠償金 ③学校給食食材納入事業者等	R2.4	R2.5	3,833,574	950,000	補償金：3,833,574	学校が臨時休業となり影響を受けた学校給食関係事業者5事業者に対し、国の学校臨時休業対策費補助金要綱に基づき補償金を支出した。	学校給食関係事業者への補償金支給により、継続的な学校給食の安定供給と保護者の負担軽減等が図られた。	今後も、感染症対策のため、食材の発注については、状況を踏まえつつ、無駄が少なくなるように努める。
35	公共施設感染防止対策事業	総務課	2.1.1	①庁舎等の公共施設内における感染拡大防止のため、各入口へのサーマルカメラ設置、各窓口への飛沫防止パネル設置、職員事務机間の飛沫防止パネル設置、議会委員会室レイアウト変更、リモート会議環境整備などを行う ②消耗品費、委託費、備品購入費 ③岩出市	R3.1	R3.3	15,588,111	15,580,000	消耗品費：140,217 ウェブ会議環境整備委託料：766,700 パーティション等購入費：14,681,194	窓口カウンター用のパーティション280枚、職員事務机用パーティション491枚、AIサーマルカメラ11台などを購入するとともに、市庁舎内におけるウェブ会議環境の整備を行った。	公共施設での感染防止対策及びウェブ会議等に対応した環境整備が図られた。	引き続き、感染防止対策に努める。また、整備したウェブ会議環境の適切な運用に努める。
合 計							704,401,454	682,108,000				

●「No」及び「事業名」については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る実施計画から引用しております。

●事業No.4、28、29については、交付金充当を取り止めた（事業実績等による）ため、欠番となっております。